



プレスリリース

2005年 6月 28日

報道関係者各位

サイバーソリューションズ株式会社

**ダブル・アイ・テー・ジャパンとサイバーソリューションズ、
eメール・アーカイブ・システムの開発で技術提携**

～ 企業コンプライアンス対応、改ざん不可能な大容量かつ高速メール・アーカイブ・システム「E.A.S.」を販売 ～

ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区神田神保町1丁目101番地、代表取締役:石川正直)とサイバーソリューションズ株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:秋田健太郎)は、サイバーソリューションズのeメール・アーカイブ&高速検索システム「MailBase」を採用したシステム開発で技術提携することに合意いたしました。今回の合意により、ダブル・アイ・テー・ジャパンは「MailBase」をベースに、電子メール・データを光ディスク(UDO*)にアーカイピング(保存)する電子メール・アーカイブ・システム「E.A.S.」を開発、提供致します。また、両社は共同セミナーや、協調プロモーションなどマーケティングにおける協業活動も実施します。

協業活動の第一弾として、2005年6月29日(水)～7月1日(金)に東京ビッグサイトで開催される「第7回データ・ストレージEXPO」ダブル・アイ・テー・ジャパン ブースにおいて「E.A.S.」を参考出展致します。

今や電子メールは、ビジネスを行う上で欠かせないコミュニケーション・ツールであり、企業にとっては重要なコミュニケーション基盤となっております。また、本年4月に施行されました個人情報保護法や、頻発する情報流出問題の懸念から、電子メール・データの保護が必要になってきており、金融機関をはじめ企業コンプライアンスを重視する企業から電子メール・アーカイブ・ソリューションが求められております。

ダブル・アイ・テー・ジャパンが提供する電子メール・アーカイブ・システム「E.A.S.」は、送受信されるメールの全件を改ざん不可能な大容量かつ高速の光ディスク UDO に保存し、必要な時に過去のメールを瞬時に検索することができます。これにより、緊急時には迅速な対応をすることで、企業の損害を最小限に抑えることも可能となります。また、全メールを保存していることを社員に知らせることにより、犯罪の抑止効果も期待できます。

ダブル・アイ・テー・ジャパンでは、2005年度(2006年3月末)内に30セット、そして2006年度200セットの販売を目標としております。

提携内容

- 1) 電子メール・アーカイブ・システム開発における技術情報の共有
- 2) ダブル・アイ・テー・ジャパンによる電子メール・アーカイブ・システムの販売およびサイバーソリューションズとの協業マーケティング活動
- 3) ダブル・アイ・テー・ジャパン ショールームにおける電子メール・アーカイブ・システム「E.A.S.」のデモ環境設置
- 4) 共同セミナー開催

8月1日(月)～5日(金)の5日間、同一内容の共催セミナーを5回実施する予定です。(会場:ダブル・アイ・テー・ジャパン 参加費無料)電子メール・アーカイブに関する最新動向、システムの説明をデモンストレーションを交えて紹介します。

ダブル・アイ・テー・ジャパンのアーカイブ&データマネジメントソリューションは、iDC(インターネット・データセンター)事業において今後ますます需要が高まると期待されているソリューションです。

サイバーソリューションズの「MailBase」は、メール・サーバに送受信されるすべてのデータを漏れなく複製し、必要な時に超高速で検索できるシステムです。大規模なシステムに対応できる統合型高速 Web メール機能を搭載したメール・サーバ「CyberMail」と、インターネットサイトの情報ならびに企業内のあらゆる情報を超高速で検索する「CyberFinder」のテクノロジーを融合して開発した製品です。

UDO(Ultra Density Optical)：青紫レーザーを使用した、30GB の記憶容量をもつ光ディスクメディア。特徴としては、大容量、高信頼性、高速な読書きです。

(参考)

[ダブル・アイ・テー・ジャパンについて]

ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社は、創業以来、社会基盤を支え、IT 社会の中核となるデータセンターの安全、信頼、高効率化を実現する、空調省電力装置や遠隔監視システムなどを販売してまいりました。

近年は、データセンターが抱える、情報のコンプライアンス管理やデータの増加にともなう効率的なデータ管理など幅広い課題を解決する製品群の提供・販売も手がけております。

効率的なデータ管理製品としては、2004年10月より、英国 Enigma Data Solutions 社「SmartMove」の販売を行っております。

情報のコンプライアンス管理製品としては、昨年12月より、重要な紙文書や電子データを安全に長期保存・検索を可能とするコンプライアンス・インフォメーション・ソリューション・スイート「iFAS」の販売を行っております。

(参考)ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社 会社概要

会社名	： ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社
設立日	： 1987年2月
資本金	： 4億2,637万5千円
代表者	： 石川 正直
事業内容	： データマネージメント製品 データファイリングシステム iFAS Exchange メールアーカイブ E.A.E. ILM ソリューション SmartMove 環境対策関連製品 パワーセーブプロ.40 高効率化関連製品 データセンター監視制御システム セキュリティ関連製品 データセンターラック/ゲージ

ホームページ： <http://www.wit-japan.co.jp/>

[サイバーソリューションズについて]

サイバーソリューションズ株式会社は、2000年の設立以来、21世紀に向けた新たなキーワードとして、「企業の知識のポータル」ということを意味した“ナレッジポータル”という言葉掲げ、企業ポータルとナレッジマネジメントを融合させたソリューション「CyberPortal」シリーズで市場を開拓してきました。

2000年には、最初の製品として、インターネットサイトの情報ならびに企業内のあらゆる情報を超高速で検索するソフトウェア「CyberFinder」の発売を開始、現在までに大手企業を中心として国内で約400社の導入実績があります。

続いて2002年には、統合型メールサーバシステム「CyberMail」を発売、「CyberFinder」同様、低価格、軽快な動作、高速性、多機能の特徴とし、また国内の他メーカーに先駆けいち早くWebメールに対応したこともあり、現在では国内で約500サイトの導入実績を誇ります。

また、2005年1月には「CyberSecure」シリーズの第一弾として、eメール・アーカイブ&高速検索システム「MailBase」の販売を開始しております。

(参考)サイバーソリューションズ株式会社 会社概要

- 会社名 : サイバーソリューションズ株式会社
設立日 : 2000年1月
資本金 : 234,275,000円(資本準備金含む)
代表者 : 秋田 健太郎 (アキタ ケンタロウ)
事業内容 : ・ポータルサイト・ソフトウェアの企画 / 開発 / 販売
 - インtranet・ナレッジ・ポータル 「 Cyber Finder 」
 - Web Mail サーバシステム 「 CyberMail 」
 - 電子メールアーカイブ&サーチシステム 「 MailBase 」
 - ロボット型検索エンジン 「 Openfind 」
 - 情報監視 & 配信システム 「 C.I.A (Cyber Info Agent) 」
 - ターゲットサイトレポートシステム 「 CyberSpider 」
 - メールマーケットシステム 「 @tract! 」
 ・ポータルサイト向けポータルエンジン ASP サービス
 ・WEBソリューションのコンサルティング及び開発

ホームページ: <http://www.cybersolutions.co.jp/>

取材お問い合わせ先 / 読者お問い合わせ先

ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社
システム部 大平 巖
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目101番地
神保町101ビル8F
Tel. 03-3293-0062 Fax. 03-3293-0065
Email: info@wit-japan.co.jp

Press Release

サイバーソリューションズ株式会社

戦略マーケティングチーム 土本 功

〒104-0033 東京都中央区新川 2-20-7 TOKOH BLDG

Tel. 03-5542-2710 Fax. 03-5542-2711

E-mail: mrk@cybersolutions.co.jp

以 上

本プレスリリースに記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です